

	検査項目	検査の説明	検査前準備/注意事項	検査に要する時間	検査場所	検査に適さない方
循環機能検査	安静時心電図（安静時・3分間記録）	心臓の電気信号を波形として記録します。心疾患の有無を調べます。	両手足4か所と胸6か所に電極をつけて検査をします。リラックスした状態で検査を受けていただきます。	5分～15分	北棟4E	安静を保つことができない方
	負荷心電図(マスター・過呼吸・寒冷)	主には階段昇降し、運動により誘発される狭心症や不整脈の有無を調べます。	階段昇降が出来る服装でお越し下さい。検査中、胸の痛みや膝の痛み、体に異常を感じたらすぐに申し出て下さい。疾患により検査を行えない方もいますので医師にお申し出下さい。	15分～30分	北棟4E	重症の心臓病や大きな血管病変がある方
	ホルター心電図(また24H血圧計付)	小型の機器を装着し、24時間心電図記録を行います。普段の生活中に起こる不整脈や狭心症を記録します。同時に血圧計を装着し、24時間記録する場合があります。	検査当日と翌日にご来院いただきます。当日はシャワー・入浴は出来ません。電気毛布や暖気カーペット、マッサージ機の使用をお控え下さい。精密機器のため、取り扱いにはご注意ください。翌日は機械の抜去時刻にご来院いただき、取り付けた機械を取り外します。	機器装着5分～20分、記録24時間	北棟4E	翌日取り外しにご来院いただけない方
	自律神経検査(R-R)	自律神経の機能の異常を調べる検査です。	検査前は出来るだけ安静状態を保って検査を行います。	10分～15分	北棟4E	頻度の高い不整脈
	トレッドミル検査	回転するベルトの上を歩く運動をし、運動中・運動後の心電図変化を調べます。	検査予約時間の2時間前より食事・喫煙はしないで下さい。	30分～60分	北棟4E	重症の心臓病や大きな血管病変がある方
	血圧脈波検査(PWV/ABIまたはTBI)	上肢と下肢の血圧を測定し、その比を求めることで動脈硬化の程度を調べます。心音図をモニターし、脈波の伝わる速さ(動脈の硬さ)も調べます。	両手足に血圧カフを巻き血圧測定する為、きつく締まる場合は、少し痛みを感じます。検査中は動いたり声を出したり出来ません。透析シャントや心臓ペースメーカー装着の場合はお申し出下さい。	10分～30分	北棟4E	安静状態の保てない方。両上肢または両下肢に血圧カフを装着出来ない方。